

ぶどうの木



教会情報誌 2021年立春号 vol.56 *I am the vine, you are the branches*

◆東埼玉バプテスト教会◆ TEL 0480(72)6919
★加須市生出(おいで)453★北平野・阿佐間の交差点の近くの赤い十字架の教会
【日曜集会】●礼拝AM10:00-11:20●教会学校AM11:30-12:10●夕礼拝PM4:00-5:00
【メールアドレス】1993hiroyasukida@gmail.com

<クリタン女性・細川ガラシャ>愛と信仰に生きた壮絶人生

NHK2020年大河ドラマ「麒麟がくる」が(コロナ禍で年をまたいで)いよいよクライマックスを迎えました。主人公・明智光秀<演:長谷川博己>について、これまであまり知られていなかったような面が掘り起こされるような脚本・演出でした。ただキリスト教会の牧師としては、光秀の娘・玉(または珠、または玉子・珠子、後の細川ガラシャ)<芦田愛菜>についてあまり取り上げられていなかったのは少々残念でしたので(玉が信仰を持ちガラシャとなるのは本能寺の変の5年後ですので致し方ないのですが)、ここでその生涯と信仰と最期について短くまとめてみます。



ガラシャ像(大阪カテドラル聖マリア大聖堂)
※ここにガラシャが暮らした細川家屋敷があった

戦国時代の1582(天正10)年6月2日、日本史上最大の謀反、本能寺の変が起きました。明智光秀が突然「我が敵は織田信長と申す」と、主君・信長<染谷将太>を討ったのです。光秀はただちに玉の嫁ぎ先である細川家に同盟を求めます。しかし、細川家は「光秀は主君の敵」として協力を拒否。本能寺の変から11日後、光秀はあえなく羽柴秀吉<佐々木蔵之介>に敗北、明智家は滅びてしまうのです。その家族の中で、ただ一人生き残ったのが、玉でした。

玉は1563(永禄6)年、越前の国で光秀の三女(または四女)として生まれました。才覚に長けた光秀譲りの利発な姫君でした。政略結婚で主従関係を強化していた信長は、家臣の光秀と細川藤孝<眞島秀和>の両者に、縁者になることを強く要請、それを両家が受けて、1578(天正6)年、同い年の細川忠興<望月歩>と結婚。玉は忠興から非常に大事にされ、一男一女に恵まれます。

ところが結婚4年目で、本能寺の変が!運命は暗転、玉は謀反人・逆臣の娘となってしまいます。しかし忠興は愛妻を見放すことができず、玉を丹後の山奥の味土野に幽閉したのです(理由については諸説あり)。自害も考える玉…。しかし、お腹にいた三人目の子を支えに、「父上、母上、姉上、どうか私をお許し下さい」

と亡き家族の冥福を祈りながら辛い毎日を耐え続けます。

忠興は信長亡き後、秀吉に仕え、玉は幽閉から2年後、天下人となった秀吉の許しが出て丹後から帰ることができました。玉が落ち着いた先は、大坂城近くの細川家の屋敷。けれども玉は再び軟禁状態に。嫉妬心の強い忠興が玉を他の男性の目に触れさせたくなかったため(理由については諸説あり)とされています。

暗い幽閉生活、忠興の過剰な嫉妬、忠興の側室の存在と出産等に心乱れ、次第にふさぎ込んでいく玉。忠興が禅宗を信仰していたため、玉も、重い苦悩の中で、当初、禅宗に救いを求めたが、禅宗では救われないことを悟るようになっていました。

そのような中、苦悩する玉は、忠興から、忠興の茶道家仲間であった、キリタン大名・高山右近の話しを聞きました。禅宗に失望していた玉は、忠興からキリスト教の話しを聞いているうちに、密かに求道心を持つようになっていきました。女性は男性に従属を強いられていた時代。神の前では何人も平等と説く教えに玉の胸は高鳴ります。

1587(天正15)年2月、忠興が九州征伐に出陣すると、その留守を狙って、自分を隠して大坂天満にあった教会を訪れました。玉は宣教師に教を請い、多くのことを学びます。

しかしわずかその4ヶ月後の同年6月、秀吉は**バテレン追放令**を出し、外国人宣教師を国外追放。秀吉が追放令を発した理由は諸説ありますが、「九州で勢力を拡大するキリスト教に脅威を感じた」ことが一つの理由だったようです。また秀吉は南蛮貿易の利益を重視していたので、この追放令はあくまでも宣教師による伝道活動を禁止する命令であり、少なくとも当初は、信仰そのものを禁止するものではなく、比較的ゆるやかな命令であったようです。

しかし玉はこの追放令を重く受けとめて、宣教師に無念と同情の手紙を何通も送っています。さらには玉は侍女と共に殉教の準備をして、「**秀吉によるキリタンへの迫害が酷くなるようなことがあれば、侍女らと共にキリタンだと名乗り出て、十字架の死を迎える**」「**どのような迫害を受けようとも、私の信仰は変わりません**」とまでパードレ・オルガンティノ宣教師に伝え、信仰を捨てることはありませんでした。

後日(1587年7月)、玉は侍女・清原マリア(いと)を通して洗礼を受けられ、「ガラシャ」(ラテン語 gratia、英語 grace)という洗礼名を受けました。「ガラシャ」とは「**神の恵み・恩恵・恩寵**」という意味です。「玉」=「たまわる」=「**賜る**」という繋がりもありました。

キリスト信仰によってガラシャは心身共に健康を取り戻していきます。後に玉に会った宣教師は、「これほど理解力を持つ聡明な日本女性を見たことがない。明晰かつ果敢な判断ができる女性であった」(エヴォラ版「イエズス会日本通信」と報告



橋本明治『ガラシャ夫人像』
(島根県立美術館所蔵)

美術家・堂本印象による壁画『最後の日のガラシャ夫人』
(大阪カテドラル聖マリア大聖堂)



激しく苦しみ、ガラシャは離縁を考えるほどでした。しかしオルガンティノ宣教師は離婚は神の教えに合わないことを示しつつ、「**苦難に立ち向かってこそ信仰心が明らかになる」「苦しみの闇でこそ人の光は美しく輝く、そしてその苦しみすらも感謝の気持ちで受け入れる**」とガラシャを励ましました。最終的には忠興は改宗こそしませんでした。いくつかのきっかけもあってキリシタン弾圧を止め、一途なガラシャの信仰を黙認するようになっていきました。

やがて1598(慶長3)年、秀吉が世を去ると、2年後、忠興は家康に従い上杉討伐に向かいます。残していくガラシャに、「いざとなったら自害して家の名誉を守れ」と命じて。その留守を狙ったのが石田三成でした。三成は徳川方の妻女たちを人質にして覇権を握ろうとしたのです。

1600(慶長5)年7月、三成はガラシャを捕らえようとしています。ガラシャは誇り高く人質を拒み、家臣に自分の胸を突かせ、屋敷に火を放ち、死にます(方法については諸説あり)。「**散りぬべき 時知りてこそ世の中の 花も花なれ 人も人なれ**」(花は散る時季を知っているからこそ、花として美しい。私もそうありたい)、ガラシャ37歳の辞世の句です。これについてジャーナリストの守部喜雅氏は次のように解説しています。「この辞世の句には聖書の言葉が重なって響いてきます。『天の天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。生るるに時があり、死ぬるに時があり…神のなされることは皆その時にかなって美しい。』そして、人ははかない存在だけれど、時を知りたもう神に出会い、その愛によって心満たされている者として、神が定めた死の時を迷いなく迎えることができる潔さを見ます。」

その2ヶ月後、関ヶ原の戦いで忠興は先陣となって三成に勝利。そして、忠興は亡き妻の追悼を、翌年、宣教師オルガンティノに依頼、**教会葬**で行い、自らも葬儀に列席して男泣きに泣いたのでした。その後も、忠興は終生、83歳で他界するまで、玉の命日には礼拝を欠かさなかったと伝えられています。家督を継いだ三男の忠利が、禁教令でキリシタンへの弾圧が厳しくなるなか、「**母のためにミサ**

書に記しています。

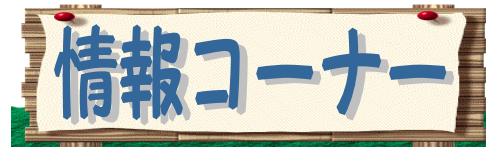
もともとキリシタンを激しく嫌い、時にはキリシタンの侍女に対して暴力を振るうこともあった忠興は、信仰をもったガラシャに対して、初めは厳しく、冷たく当たりました。キリシタンの侍女たちの鼻を削いで屋敷から追い出したり、侍女頭に側室になることを強要したりする等、ガラシャを

を続けてほしい」と、父・忠興に送った手紙まで残されています。さらには忠興は、ガラシャ召天後、ガラシャの遺志に従って、側室を正室を迎えることはなかったそうです。

とてもこれだけの紙面では細川ガラシャの信仰とその魅力については語り尽くせません。そこで!アスタホールで開催される特別講演会のご案内です。

特に「**ガラシャの愛と信仰**」と「**ガラシャの召天の真相**」について、お話しさせていただきます。ぜひご予約下さい。以下に案内を掲載しています。

※コロナ禍のため、緊急事態宣言が継続している、施設が使用できなくなる等の事情があれば、やむを得ず、開催中止の場合もあります。ご了承下さい。事前に、電話・メール・ホームページ等で東埼玉バプテスト教会までお問い合わせ下さい。



【細川ガラシャ特別講演会】

於:大和根文化・学習センター「アスタホール」多目的ホール

①3/20(土), ②3/21(日) PM2:00~4:00

★①「ガラシャの愛と信仰」 ②「ガラシャの召天の真相」 ★参加費無料

★①か②、どちらかだけの参加も可能です。(資料はお分けいたします。)

関ヶ原の勝敗を決めた、キリシタン女性・細川ガラシャ。あの明智光秀の娘であったがゆえに、愛と信仰に生きた壮絶な人生を読み解く。

【イースター特別礼拝】

4/4(日) AM10:00~11:30

イエス・キリストが復活され、今も私たちと共にいて下さることを覚え、感謝する特別な礼拝です。それは私たちに勝利と希望を与えます。あなたのご来会を心からお待ちしています。

★ ご来会の皆さまには、彩り鮮やかなイースターエッグをプレゼントします。

★ お持ちいただく必要のあるものは何ともありません。手ぶらでどうぞ。